令和2年度 評価について<計画表>

各種SSH事業やSS科目、課題研究についてはReaction, Learning, Behavior, Results の4段階のレベルを意識し、担当者が評価する。

	レディネス調査	PISA	SS科目	課題研究	SSH事業	各種コンテスト
調査方法 意図	科学技術の用語を用いた 興味関心・知識に対する 量的質的調査	リテラシー・汎用的能力を測る指 標として、1年春・秋に実施・評価	各SS科目は「伸長が期待される評価の観点」 を設定し、授業による効果を調査。 各教科科目で設定した観点に基づき、仮説を 設定し、アンケートや試験(考査問題)によっ て、達成度を評価。	課題研究でルーブリックによる生 徒の変容を調査。	事業ごとにアンケート や聞き取り、ワーク シートによる評価	コンテスト 参加人数・学習会など の実施状況・結果を もって評価
1年	5月 6月 11月	第1回実施 第2回実施	第1回実施 第2回実施	SS数学S(普通科) SS数学T(普通科) SS数学X(美術科) SS生物(普通科) SS地学(普通科) SS総合科学(美術科)	課題研究基礎(普通科) 課題研究基礎(美術科) 課題研究(情報1)(普通科) 課題研究(人間性)(美術科)	
2年	11月	第1回実施	第1回実施	SS数学U(普通科) SS数学V(普通科) SS数学Y(美術科) SS物理(普通科) SS化学(普通科) SS生物(美術科)	課題研究(探究IA)(普通科) 課題研究(探究IB)(普通科) 課題研究(知識)(美術科)	各種オリンピック 科学の甲子園 生徒研究発表会 その他発表会 各種コンクール
3年						

* 評価については、学年進行で実施する。